

## 小さな命を守る 施策の推進を

**Q** 香取市の保護猫活動の具体的な施策として、「さくらねこ無料不妊手術事業」導入に向けた検討状況は。

**A** 市の保護猫活動の取り組みとして、飼い主のいない猫の増加を抑え、地域の公衆衛生の向上及び良好な生活環境の保全を図るため、活用について検討を進めています。

**Q** 「さくらねこ無料不妊手術事業」の他に保護猫活動に対する支援体制は。

**A** 犬及び猫の無秩序な繁殖を抑制し、周囲に対する危害及び迷惑の防止を図るため、避妊・去勢手術を受ける犬・猫の飼い主に対して手術費の助成を行っています。

**Q** 福祉施設「香取の杜、中々」の飼育崩壊で飼いきれなくなった猫や野良猫に関する取り組みが新聞紙上で紹介され反響があった。このような施設活動の評価は。

**A** 飼育崩壊した猫が福祉施設で引き取られ、利用者の癒しとなり、穏やかに過ごしていることは、保護猫の居場所づくりの観点から有効な取り組みと認識しています。



つじ たつひろ 議員

## 公共交通・移動支援の充実で 住みやすく暮らしやすい香取市に

**Q** 香取市の公共交通の現状は。10月に公共交通はどのように再編されるのか。

**A** 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活様式の変化や交通事業者の運転手不足の影響が路線バスの減便という形で顕在化し、令和6年4月の労働基準法の一部改正に伴う運送業における働き方改革が実施されたことから、さらに現在の公共交通体系の維持が困難な状況となっています。公共交通の再編では、路線バスの統廃合で廃止となる路線をワゴン車を使用して代替することで移動の足を確保するとともに、山田地区、栗原地区、佐原地区の一部でデマンド交通の運行を開始し市内の移動しやすさの向上を図ります。

**Q** 路線バス減便や運転手不足等の問題が顕在化し、市民の移動手段の確保が一層重要となった。今後の公共交通の利用促進の具体策は。



まえだ まさゆき 議員

**Q** 大学との連携と併せて、香取市内の高校との更なる連携を検討すべきではないのか。

**A** 令和5年度、佐原白楊高等学校と連携し、職業感育成プログラムを実施しました。今後も、香取市内の高校と連携を図っていききたいと考えます。

## 地域おこし協力隊の更なる活躍を

**Q** 現在、何名が活動し、どのような業務についているのか。

**A** 令和6年9月1日現在、20名が活動しています。農業振興分野6名、移住・定住分野4名をはじめ、関係人口の創出、フィルムコミッションの推進等の様々な分野で活動しています。

**Q** 任期終了後のキャリア形成、定住につながるための方策を検討しているのか。

**A** 任期終了後のキャリア形成、定住につながるための方策を検討しているのか。

**A** 10月運行開始のデマンド交通に運転経歴証明書保有者の料金区分を設けて料金を割引くことで、新たな利用者を増やす取り組みを行います。

## 命を守るための 自転車用ヘルメットの購入助成を

**Q** 令和5年4月施行の改正道路交通法で、自転車用ヘルメットの着用が努力義務とされた。香取市の自転車用ヘルメットの着用率と着用率向上の取り組みは。

**A** 着用率は、令和5年7月のデータで全国平均が13.5%、千葉県は6.4%で、全国39位でした。着用率向上の取り組みは、交通安全運動やふるさとフェスタさわら等のイベントで啓発活動に努めています。

**Q** 銚子市、旭市、神崎町、東庄町では、自転車ヘルメットの購入助成が始まっている。香取市の購入費助成の考えは。

**A** 近隣市町の情報を収集し、調査、研究していききたいと考えています。

**Q** 任期終了後のキャリア形成や定住に向けた支援策を隊員とともに検討しているところですか。

**A** 今後、任期が終了する隊員の成果なども参考に、増員した場合のサポート体制も含め研究していききたいと考えています。

## 香取市の撮影地としての整備と PRを

**Q** 香取市の撮影地としての可能性を、どのように考えるのか。

**A** 香取市は、比較的都内から近いことや佐原の歴史的町並みなど、撮影地としての観光資源が数多くあることから、映画やテレビ番組等の撮影地として活用されることで、観光客の増加やそれに伴う地域経済の活性化等の可能性があると考えます。

**Q** 6月に任命した政策アドバイザーと、どの様に協力していく予定なのか。

**A** 制作会社と市町村のフィルムコミッション等をつなぐロケーションコーデイネーターの専門的な知見から、制作会社が求める撮影地の選定基準や必要な情報、市内の撮影候補地の整理などに協力いただく予定です。

## 人口減少に対して 多角的な政策を

**Q** 関係人口を創出することは、人口減少対策として重要ですが、香取市としてどのような方策を考えているのか。

**A** 観光、産業振興や地域おこし協力隊の活動など、様々な施策によって関係人口の創出を推進しています。

**Q** 千葉県が実施している副業人材マッチングを、香取市としてどのように捉えているのか。

**A** 香取市として、どのような協力ができるかを含め、研究していききたいと考えています。

**Q** 複数の大学が香取市をフィールドワークの場として、様々な活動・研究をしている。香取市として各大学との連携を検討すべきでは。

**A** 現在、東京情報大学及び千葉工業大学と連携協定を締結し、地域振興活性化の推進を図っています。様々な大学とどのような連携が可能か検討していききたいと考えます。